



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

The Y's Men's Club of Nagoya

CHARTERED AUGUST 27, 1947

c/o NAGOYA YMCA 2-7, HARUOKA, 1CHOUME CHIKUSA-KU, NAGOYA, 464-0848 JAPAN

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

主 題 (2025/2026)
国 際 会 長 : 「信念、愛、行動」
アジア太平洋地域会長 :
西 日 本 区 理 事 : 「世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう」
中 部 部 長 :
名古屋クラブ会長 : 人のつながりはワイズの宝 新しいうねりを超えて

2025 ~ 2026 7 月号 (No941)



名古屋ワイズ
ホームページ



名古屋ワイズ
FACEBOOK

7 月例会プログラム

と き : 2025 年 7 月 8 日 (火) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
ところ : 名古屋 YMCA (以下敬称略)
司 会 戸 田 真 二
開会宣言 会 長 加 藤 明 宏
ワイズソング
聖書朗読・祈祷 中 村 隆
プログラム : クラブ総会
ハッピーバースディ・諸報告・ニコボックス
閉会宣言 会 長 加 藤 明 宏
食事の申し込みはこの所出席率が良いので 欠席の場合のみ連絡することに変更します。欠席の方は 7 月 3 日 (木) までに必ず川本書記まで連絡してください。無駄な食材や出費を出さないためにも 出欠連絡をよろしく願いいたします。

第 2 例 会

と き : 2025 年 7 月 14 日 (月) 7:00p.m. ~ 8:30p.m.
ところ : Zoom
プログラム : 今期プログラムと例会の持ち方、その他
※今期も引き続き第二例会は第 1 例会の翌週の月曜日に行います

会 長 加藤明宏 書 記 川本龍資
副 会 長 都築正和 会 計 平野実郎、谷川修
プリテン 渡辺真悟、戸田真二、平野実郎

8 月号 原稿担当者

巻頭言 都築 正和 7 月第一例会レポート 川本 龍資

人のつながりはワイズの宝 新しいうねりを超えて

会 長 加 藤 明 宏

ワイズメンズクラブの喜び・楽しさは、「人のつながりにあり」との思いで、昨年度をスタートしました。ワイズメンズクラブや YMCA につながる人の豊かさ・多様性は十分感じることができ、その思いは確信に変わりました。深谷さん（名古屋）、鶴丹谷さん（神戸）、中井さん（奈良）と、3 期続けて YMCA ボランティアリーダー経験者が、ワイズのトップリーダーシップを担われたことに、職員 OB として大きな喜びを感じています。YMCA とワイズメンズクラブの関係性に確かな手ごたえを感じています。また今期、部長の役割を担う柳さん（六甲部）、福永さん（瀬戸山陰部）、上久保さん（西中国部）は、いずれも YMCA スタッフ経験者で、これもまた必然性の中で嬉しいことでもあります。しかし一方、新しい人材の発掘という点で、考えなければならない課題でもあります。

会長としての役割を果たせたかについては、大いに反省するところですが、特に「新しいつながり」が、新入会者の獲得という点で不十分だったことを思います。合同例会、特別例会や通常の例会で、多彩な卓話者・ゲストをお呼びして、それなりに充実した例会を開催できたと思いますが、まだ道半ばです。西日本区、中部、名古屋地区の 3 クラブそして名古屋クラブの中に、新しいうねりが出つつあります。そのことも念頭に、新たな気持ちでその活動に向かっていきたいと思っています。1 年支えてくださった役員そしてクラブの皆さまに感謝しつつ、新年度のスタートを切りたいと思います。今期もよろしくお願いします。

クラブ出席		6 月 個人出席									イベント出席	
在籍 (2 名功労・広義会員)	18 名	氏名	第 1	第 2	氏名	第 1	第 2	氏名	第 1	第 2	西日本区大会 : 加藤、川口、川本、相馬、谷川、平野、深谷、深谷メネット、渡辺 東日本区大会 : 加藤 名古屋ワイズ連絡会 : 加藤、谷川、平野、深谷 中部評議会 : 加藤、川本、戸田、渡辺 名古屋 YMCA 大会 : 塩田、川本、相馬、谷川、渡辺、川口、加藤	
第 1 例会	14 名	小 尾			鈴 木			中 村	○			
メネット	0 名	加 藤	○	R	相 馬	○	R	西 村	○	R		
ゲスト・ピジター	0 名	川 口	○		谷 川	○	R	平 野	○	R		
第 2 例会	8 名	河 部	○		都 築	○		深 谷	○			
メネット	0 名	川 本	○	R	戸 田			山 川	○			
ゲスト・ピジター	0 名	塩 田			中 井	○	R	渡 辺	○	R		
メーキャップ	0 名										○出席 R リモート出席 M メーキャップ	
出席率	88%											

■ ■ ■ 1 月例会レポート ■ ■ ■

と き 2025 年 6 月 10 日（火） 7:00pm ～ 8:30pm

ところ 名古屋 YMCA 5F チャペルにて

6 月例会は「この 1 年の振り返り」（次年度にむけて）と冠して 7 月の総会に向け活動内容や加藤会長の「思い」、次年度の活動内容や会費の内容など盛りだくさんの内容を話しました。

6 月 14 日に神戸で開催される西日本区大会を控え、昨年名古屋 次年度が奈良、そして 8 月には熊本でのアジア太平洋地域大会と改めて国際組織であることを認識いたしました。「とにかく楽しく取り組もう」という気持ち有加藤会長やメンバーの皆さんから伝わり、温かい気持ちになりました。

・ ・ ・ ・ ・

■ ■ ■ 第 28 回西日本区大会レポート “CHALLENGE FOR CHANGE BE Y's IN KOBE” ■ ■ ■

鵜丹谷理事の締めくくりとなる第 28 回西日本区大会が、ANA クラウンプラザホテル神戸で 6 月 14 日に開催され、我が名古屋クラブからも、深谷直前理事夫妻を筆頭に 9 名が参加、地区の多くのワイズメン、メネットと旧交を温めた。今年は、阪神・淡路大震災から 30 年、完全復興となった神戸の町を見下ろしつつの大会となった。様々なプログラムが、丁度 1 年前、名古屋で開催された第 27 回大会を思い出しつつ、その時との違い等にも思いを馳せる大会となった。

一つの会場ですべて開催できるのはやはり良いよなあ！と 懇親会を 2 カ所で開催せねばならなかった昨年大会を振り返りつつ、しかし、そんなハンデがかえって強烈な印象となったよな！、朝の連ドラのロケ地ともなった名古屋公会堂の大会がとても好印象を受けたと、旧知のワイズとの語らいの中で言われ、胸を撫でおろした中部地区のワイズでもあった。今大会のプログラムで耳目をあつめた！の



は、懇親会スタート時の映画「スイングガールズ」のモデルとなった「高砂高校ジャズバンド部 = Big Friendly Jazz Orchestra」の演奏でしょうか！ 流石 Japan Student Jazz Festival で 5 年連続グランプリ受賞だけのことはあるなど、納得の心に響く名演奏だった。

そして、この大会で名誉ある「奈良傳賞」受賞者は DBC 締結クラブの和歌山紀ノ川クラブの永井康雅ワイズである。受賞の挨拶では強い影響を受けた人として、西村、長井(故人)ワイズの名前も出てきて感激した。受賞のお祝い会を、できれば富士山部の部会に合わせて 3 クラブ DBC を開催しよう、その場でやれると良いよねと、紀ノ川クラブメンバーらと確認して、そば降る雨の神戸を後にした。（谷川 修）



メンバーズ

メン 小尾 雅彦
メネット 川本 清美

■■■ 第 28 回東日本区大会 参加レポート ■■■

日本区が東西に分割されて 28 年が経過した東日本区大会に 6 月 7 日（土）参加しました。東日本区理事：山田公平さん（宇都宮）、書記：大和田浩二さん（松本）、書記補佐：山口直樹さん（東京武蔵野多摩）という、個人的に東京 YMCA リーダー時代、YMCA 職員時代に親しかったつながりもあり参加しました。

300 名程の参加者、IBC 締結のためインド・ハイデラバードクラブから 8 名、西日本区からも 25 名程の参加がありました。バナーセレモニーや表彰など、いろいろなやり方があるのだと、昨年の大会を思いながら、気軽に楽しめました。宇都宮ギョーザとクラフトビールを堪能し、LRT（路面電

車の未来版）にも乗車。大会の特別公演は、笑点・大喜利のレギュラーメンバー立川晴の輔さんの独演会、東京農大落研の先輩（OB 会会長）が、宇都宮クラブ在籍のワイズメンとのことで、特別の計らいだったと聞きました。

個人的な参加ということで、前夜祭に替えて足尾銅山とわたらせ渓谷鉄道の観光、日曜日は礼拝出席後、エクスカーションに替えて田中正造記念館の見学と、自由気ままな旅となりました。しかし思ったことは、何十年ぶりにお会いした東日本区のワイズメンやリーダー・スタッフ時代の知り合いに再会できたことなど、「人のつながり」の恵みを体感できた大会でした。（加藤 明宏）

■■■ 第 2 例会レポート ■■■

と き：2025 年 6 月 16 日（月）19:00 ～ 20:00

ところ：Zoom リモート

○第 28 回西日本区大会の報告

次年度 2025-26 年度西日本区体制（抜粋）

●理事 中井信一（奈良）

主題「世界中の仲間と YYY ライフを楽しみましょう !!」

スローガン「あなたに寄り添う。あなたを忘れない。」

・行政監事：深谷聡 ・JWF 管理委員会委員長：川本龍資

・クリスチャニティー委員会委員：谷川修 ・中部部長：清水淳（富山）・中部事業主査（国際・交流）：都築正和

・中部次期部長：川本龍資

○7 月以降の例会 内容（提案）

●7 月例会 7 月 8 日（火）クラブ総会

・2024-25 年度 活動報告と決算報告

・2025-26 年度 活動計画と予算

●8 月例会 ・恒例の納涼例会を企画（在名 3 クラブ合同例会）し、6 月 26 日開催の在名ワイズ連絡会に提案する。←ホストクラブを名古屋で引き受ける。

時節柄猛暑は避け 8 月最終週を候補日とする。

●9 月以降の例会卓話者は現時点では未定。次年度も卓話例会中心で行う。

（候補者）

・牧野和博さん 入会候補者 元名古屋ワイズ担当主事

・三枝 隆さん 名古屋 YMCA スタッフ スズカト担当

・畑 佳子さん 教員、名古屋 YMCA リーダー OG（グレイブ）

・近藤保彦さん 大手総合小売、名古屋 YMCA リーダー OB（ヤッチ）

○次年度ロースター 確認

●校正確認済 最終校正締切 6 月 20 日・申込数 17 冊

○その他

●名古屋地区ワイズ連絡会 6 月 26 日（木）19:00 ～（オンラインにて）

●中部評議会 6 月 28 日（土）16:00 ～（オンラインにて）

●名古屋 YMCA 大会 6 月 29 日（日）13:30 ～ 16:30
ルブラ王山 各自申込必要 締め切り：6 月 2 日（月）

●2025 年夏 日和田キャンプ場（学童キャンプ、冒険キャンプ他）ボランティア募集中

●アジア太平洋地域大会（熊本）8 月 1 日（金）～ 3 日（日）

●中部部会 10 月 4 日（土）於：とやま自遊館 自家用車での乗合を検討

●2025-26 西日本区大会（なら 100 年会館・ホテル日航奈良）2026 年 6 月 13 日（土）単日開催（川本龍資）

会計より会費納入のお願い

会費は月額 7,000 円、年額 84,000 円です。できるだけ 6 ケ月分 42,000 円を 7 月と 1 月に納入してください（3 ケ月ずつ納入される方は 7 月、10 月、1 月、4 月に納入して下さい）
ゆうちょ銀行 記号 12120 番号 82306781
なまえ ナゴヤワイズメンズクラブ

名古屋ワイズ

ホームページとフェイスブックの紹介

名古屋ワイズメンズクラブの様々な情報はパソコンからは <https://nagoya-club.wixsite.com/toppage>
FACEBOOK: 名古屋ワイズメンズクラブと検索スマホからは 1p 表題にある QR コードをスキャンすれば見ることが出来ます。一度覗いてみて下さい



Menettes of Nagoya Y's Men's Club

今月の聖句

「目を覚ましていなさい。信仰に基づいてしっかり立ちなさい。雄々しく強く生きなさい。何事も愛をもって行いなさい。」(コリントの信徒への手紙一 16:13 ~ 14)

西 村 清

私たちは生きると言うことでは一生懸命になります。私たちはそれぞれ家庭があり、家族のためにも頑張り、頑張り過ぎることもままあります。しかし人間は四六時中、緊張して生活できるわけではありません。時に息抜きが必要になります。朝日新聞の「折々のことば」にあった記事ですが、「大きな、力強い物語が書きたかったら、それと同じ熱量で、反対側にブランコを振り切る」という。ずーっと頑張っていると、いざという時に力が入りませんよという。以前取材した助産師さんの言葉が忘れられないと、作家はいう。「いきむ」と「ゆるむ」。凝集と放散。一方の極から反対の極へと振れというか、揺れ幅の大きな往還が、仕事と人生の熱源になると。

昔見た映画で、記憶がはっきりしないのですが、宮本武蔵が巖流島で佐々木小次郎と決闘する前、ある料理旅館で酒を飲み、食事をしている時、そこのおかみに、うながさ

れた言葉があります。琴は使わない時は弦を緩めて、使う時はまたしっかり張る。そうしないと弦がだめになる。お前さんを見てると張りっぱなしの琴のようだ、と指摘された。武蔵ははっと気が付き、張り詰める時と緩める時との緩急を会得したと言われている。これは「武蔵」という小説を書いた作家、吉川栄治の発想かもしれません。

6月18日の新聞にも記されていました。人は日に何度も、緊張して息を詰める。ハッとして息を呑みもする。吸気の緊張が続くと、疲れてへとへとになる。そんな「息詰まり」と作業の能率の低下を回避しようとして、人は呼気を間にうまく挟み、心の換気をしてきた。おしゃべりや歌、笑いなどである。

今月の聖句を読んでいて、こんな生きざまの大切さを覚えてしまいます。聖書的な解釈とはかけ離れていますが。

.....

YMCA ニュース

夏のプログラム

夏のプログラムの募集開始時には集客に苦戦しましたが、徐々に回復しつつあります。定例活動が少し低調なので、再び参加者が増えるのは嬉しい限りです。リーダーたちも多く参加してくれており、心強く感じています。名古屋 YMCA の看板プログラムである「学童キャンプ」も、本日抽選を行い、参加者が決定しました。このキャンプは貧困児童支援の一環として、寄付金を集めて実施しています。初回の募集時には、名古屋市内の小学校児童約 12 万人全員にチラシを配布したところ、募集開始前から電話が鳴り続け、1 日半もの間、問い合わせが殺到しました。その反響の大きさには私たちも驚かされました。現在では、学校を通じての配布が難しくなったため、インターネット上の募集サイトにて情報を掲載しています。体制としては、

私と ICCPJ のリーダー計 3 名、日和田キャンプの厨房では中村総主事とグランパスワイズの吉田一誠さんが支えてくださいました。今では、名古屋ワイズからも多くのシニアボランティアの方々が活躍してくださっています。

子どもたちやユースリーダーが多く集うキャンプは、彼らにとって貴重な成長の機会であり、私たちにとっても共に成長していく場です。だからこそ、キャンプの活動はとても大切だと感じています。シニアボランティアの方々のご協力も少しずつ増えてきていますが、時期によっては人手が不足する場面もあります。ぜひ、ユースリーダーに負けないくらいの情熱をもって、一緒に活動にご参加いただき、子どもたちの成長を支える力となっていいただければ幸いです。

(中井信幸)